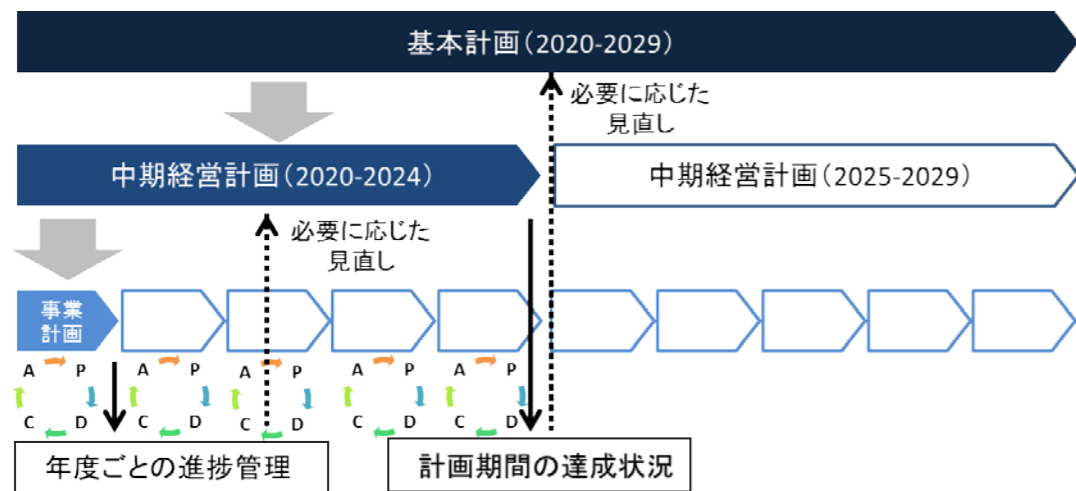


本計画で定めた施策の基本的方向性に沿った具体的な取組の推進のために、前期・後期5年ごとの「仙台市水道事業中期経営計画」を策定し、年次計画や経営指標、各取組により期待される効果を示します。年度ごとにPDCAサイクルによる進捗管理を行い、必要に応じた計画の見直しを図ることで、将来像の実現を目指します。



本計画の推進のために、新しく以下の3つの取組を行います。

**NEW 1**

「将来像・施策の基本的方向性」の評価

**NEW 2**

「(仮称)仙台市水道事業経営検討委員会」の新設

**NEW 3**

「お客さま意識調査」の継続的な実施

本計画の策定にあたっては、各分野の有識者7名で構成する「仙台市水道事業基本計画検討委員会」において、目指すべき将来像や施策の基本的方向性について、ご意見をいただきながら検討を進めました。また、パブリックコメントやお客さま意識調査を実施する等、多くの方々から広く寄せられたご意見等を踏まえながら、本計画を策定しました。

【開催経過】

第1回 H30.11	・仙台市水道事業基本計画の策定について
第2回 H31.2	・仙台市水道事業の将来見通し ・水道に関するお客さま意識調査結果
第3回 H31.4	・仙台市水道事業の基本理念と将来像について
第4回 R1.6	・仙台市水道事業基本計画の骨子案について
第5回 R1.8	・仙台市水道事業基本計画の中間案について
第6回 R1.11	・仙台市水道事業基本計画の中間案に対する市民意見の募集結果について ・仙台市水道事業基本計画（案）について

【委員名簿】

(◎委員長、○副委員長、敬称略)

所属等	氏名
作新学院大学 名誉教授	◎太田 正
東北大学大学院工学研究科 教授	○西村 修
東北大学災害科学国際研究所 准教授	有働 恵子
仙台商工会議所女性会 会長	佐藤 万里子
早稲田大学研究院 准教授 早稲田大学総合研究機構 水循環システム研究所 主任研究員	佐藤 裕弥
東北大学大学院工学研究科 教授 東北大学インフラ・マネジメント 研究センター センター長	久田 真
特定非営利活動法人 仙台・みやぎ 消費者支援ネット 副代表理事	若狭 久美子

編集・発行：仙台市水道局総務部経営企画課  
〒982-8585 仙台市太白区南大野田29-1  
TEL:022-304-0010 FAX:022-249-2006  
電子メール：sui072120@city.sendai.jp

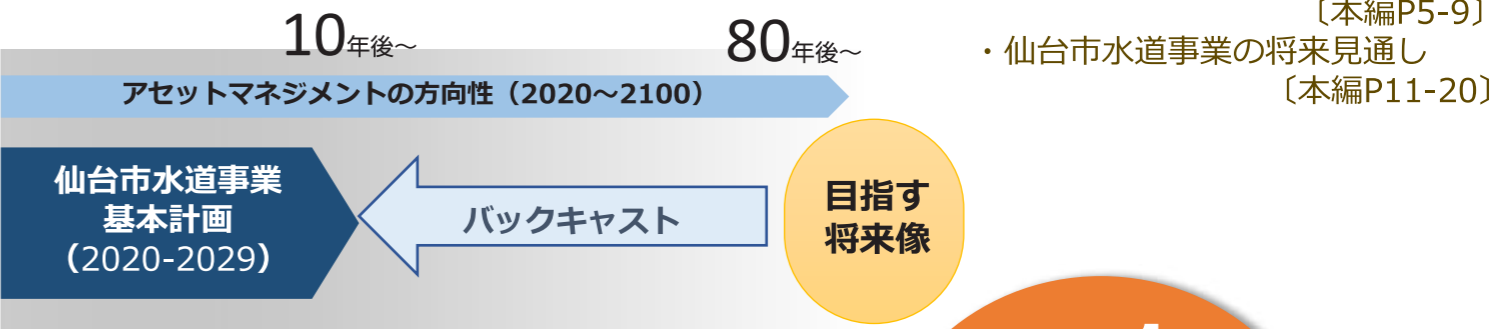
# 仙台市水道事業基本計画

(令和2(2020)年度～令和11(2029)年度)

概要版

人口減少社会を迎える中、仙台の水道は、水需要減少に伴う水道料金収入の減少、施設の老朽化、マンパワー不足等、様々な課題に直面しています。将来にわたって持続可能な事業運営を実現するために、80年後の将来を見据えて目指す将来像を設定し、今後10年間に取り組むべき施策の基本的方向性を定めます。

将来は **いま** 創られる！



- ・策定趣旨と位置づけ [本編P1-4]
- ・仙台の水道のこれまでのあゆみ [本編P5-9]
- ・仙台市水道事業の将来見通し [本編P11-20]

基本理念  
**未来へつなぐ  
杜の都の水の道**  
～市民・事業者との協働～

仙台の水道は、令和5年度に給水開始100周年を迎えます。今後の100年の未来にも、仙台の水道を引き継いでいくために、市民・事業者の皆さまと協働して、これから到来する人口減少社会における様々な課題に取り組んでいきます。

[本編 P 21]

将来像 **1**  
水道システムの最適化

将来像 **2**  
持続可能な経営

将来像 **3**  
関係者との連携強化

目指す3つの将来像の実現に向け、今後10年間に取り組んでいく**12の施策の基本的方向性**を定めます。

# 1 水道システムの最適化

方向性 1 お客さまが実感できる良好な水道水質の実現

水質の管理・監視の徹底

品質管理

法令51+独自150以上を検査

美味しさ

数値と人の味覚で管理

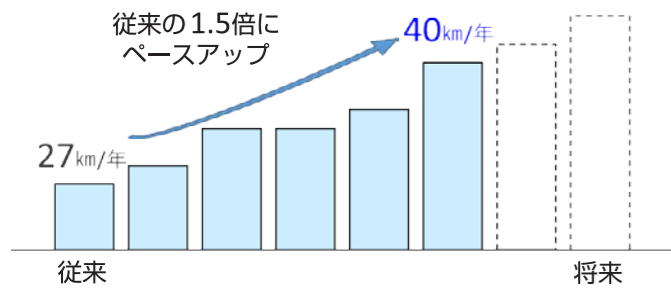
安定供給

24時間365日体制で監視



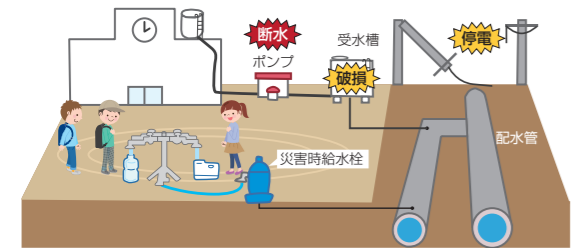
方向性 2 災害に強い施設・システムづくりの推進

管路更新のペースアップ



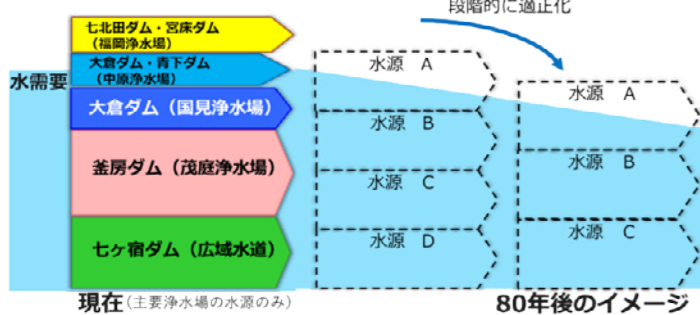
方向性 3 被災時にも給水が継続できる体制の強化

災害時給水栓の仕組み



方向性 4 水需要に合わせた施設の再構築

将来的な水源の適正化



# 2 持続可能な経営

方向性 5 アセットマネジメントによるライフサイクルコストの縮減

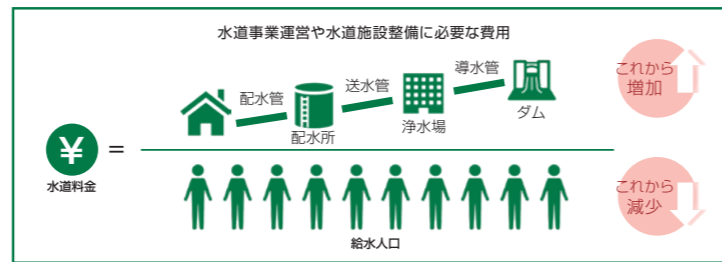
資産ごとの対応方針の検討

定期点検の結果等に基づき、資産の状況に応じた最適なメンテナンスを行うことで、更新費用や維持管理費用の削減を図ります。



方向性 6 将来の更新財源確保に向けた水道料金等の在り方検討

水道料金等の在り方検討



方向性 7 新技術導入等による業務の効率化・お客さまサービス向上

新技術導入に向けての検討

業務の一層の効率化やお客さまサービスの向上を図るため、活用可能な新技術の洗い出しを行い、それぞれのメリット・デメリットを検証しながら、導入についての検討を行います。

方向性 8 水道事業を支える人材の確保・育成及び組織体制の強化

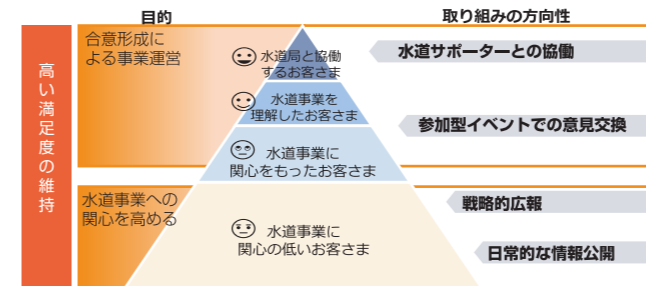
キャリアを意識した人材育成



# 3 関係者との連携強化

方向性 9 お客さまとの双方向コミュニケーション充実による開かれた経営の実現

お客さまとの双方向コミュニケーションの充実



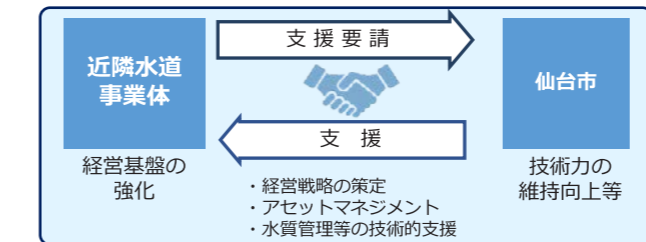
方向性 10 災害対応における地域・他の水道事業者・民間事業者との連携強化

地域住民や他の水道事業者との合同訓練



方向性 11 本市の技術力・ノウハウ・ネットワークを活かした近隣水道事業者との連携強化

近隣水道事業者との連携強化



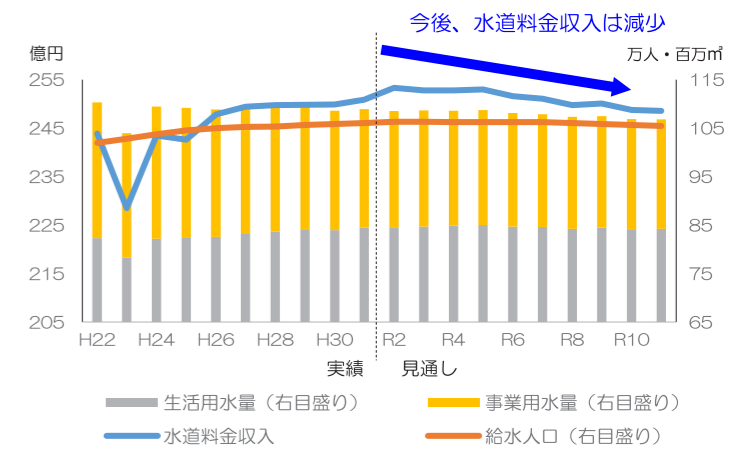
方向性 12 民間事業者・仙台市水道サービス公社との更なる協働

民間事業者等の技術力の維持向上支援

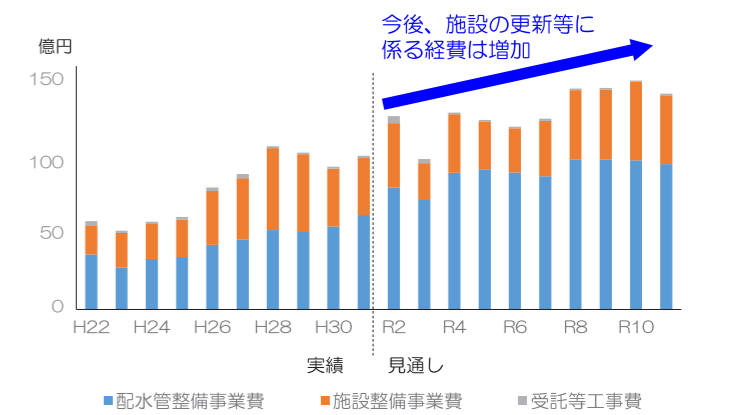


# 財政収支見通しと財政運営の考え方

水道料金収入の見通し

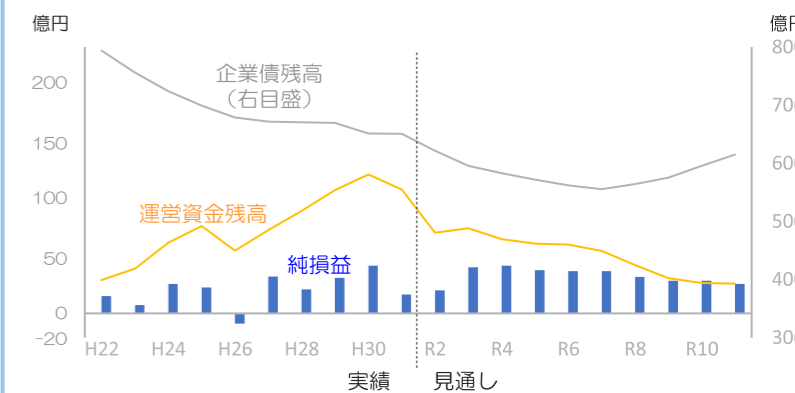


建設改良費の見通し



財政収支見通しと財政運営の考え方

企業債残高の縮減、安定的な運営資金の確保、純利益の確保により、健全かつ安定的な財政運営を進めていきます。



企業債残高: 建設改良費の増により増加する見込みですが、令和元年度の残高を超えない水準を維持していきます。

運営資金残高: 建設改良費の増等により減少する見込みですが、持続可能な経営を維持できる資金を確保していきます。

純損益: 水道料金収入の減や建設改良費の増に伴う減価償却費の増等により減少する見込みですが、1年間の営業活動等に必要費用は水道料金等の収益で賄えるようになります。